

## 御所市地域公共交通会議（ネットワーク全体の評価）

### 1. 協議会が目指す地域公共交通の将来像

#### 公共交通の将来像

##### 【地域特性】

- 市北部の中心市街地に人口と都市機能が集積している。
- 全国や奈良県と比較して急速なペースで人口減少が進んでいる。
- 高齢化率が高く、2040年には50%を超える見込みである。
- 働く世代（20代から40代半ば）の転出超過が顕著である。
- 出生数は年々減少しており、1985年以降、自然減が続いている。

##### 【上位・関連計画、交通・土地等に関する方針】

- 御所市第6次総合計画（2021年3月策定）
  - ・安全・安心な暮らしを支える生活基盤となる道路を計画的に整備し、誰もが行きたい場所へ円滑に移動のできる環境が構築されたまちを目指す。
- 御所市都市計画マスタープラン（2022年3月策定）
  - ・交通結節点の強化を図るとともに、鉄道とバスの乗り継ぎを円滑にし、公共交通の利便性の向上を目指す。
  - ・鉄道、バス事業者との協議調整による、適切な運行路線の検討や便数の最適化を促す。
  - ・歩行空間におけるバリアフリー化の推進、通行帯の整備など、交通安全対策を実施する。
- 御所市第2次まち・ひと・しごと創生総合戦略（2020年3月策定）
  - ・JR、近鉄線の大阪や橿原方面への鉄道利便性の向上。
  - ・市内交通ネットワークの利便性向上。
  - ・ライドシェアリングの推進。
- 御所市中心市街地地区まちづくり基本構想（2017年3月策定）
  - ・JR御所駅、近鉄御所駅前空間の充実。
  - ・交通結節拠点の機能強化。
- 御所市内公共交通実証運行計画（2022年3月策定）
  - ・利用者の需要やニーズに応じた、効率的で利便性の高い公共交通への再編。
  - ・市内公共交通の利用の促進。
  - ・将来にわたって持続可能な公共交通の構築。

##### 【計画の将来像・基本方針】

行きたい、住みたい、語りたい。～自然と歴史を誇れるまち ござ～

<p>I. 中心市街地の交通拠点としての機能向上を実現する公共交通網の構築</p> <p>II. 誰一人取り残さない公共交通網の構築</p> <p>III. 人口減少や少子高齢化を踏まえた移動手段の転換支援</p> <p>IV. 地域・交通事業者・行政が一体となった公共交通の維持・利用促進</p> <p>【計画の期間】</p> <p>○2023年度（令和5年度）から2027年度（令和9年度）</p>
<b>公共交通ネットワークのイメージ図</b>
<p>※別添で添付して下さい。</p>

**2. 目標設定及びその達成状況の評価に関する事項**

公共交通利用者の需要やニーズに応じた、将来に渡り持続していける公共交通網を構築することを目的として、上位・関連計画との整合を図りつつ、地域の公共交通計画を策定することを目標とする。

### 3. 目標達成に向けた公共交通に関する具体的取組み内容

#### (1) 取組経緯

本市の公共交通機関は、鉄道が2事業者（JR、近鉄）、バスが1事業者（奈良交通）タクシーが2事業者（サワタクシー、サンキュータクシー）、コミュニティバス、デマンドタクシーとなっている。移動手段の種類としては充実しているものの、各公共交通機関の運行本数や運行時間帯、異なる公共交通機関への乗り継ぎ環境等は適切であると言えず、さらに人口減少が続いていることもあり、公共交通の利用者数は減少傾向にある。

地域概況や公共交通の現況を調査すること、および、利用者や市民へのアンケート調査により利用状況やニーズを把握すること等により、本市における公共交通の問題点や課題を洗い出し、将来にわたり公共交通を確保・維持・改善していくための方針・実施事業を検討し計画に定めることとした。

#### 【取組（調査等）の主な内容、調査結果の概要】

##### ○地域概況及び公共交通の現況調査

- ・人口は1980年から減少し続けており、2045年には1980年と比較し約63%の人口が減少することが予想されている。
- ・近鉄、JR御所駅周辺など中心市街地に人口が集中している。
- ・都市機能の多くが近鉄、JR御所駅からの徒歩圏内に集積している。
- ・近鉄御所駅でのみ駅前広場が整備されているが、バスやタクシー等で混雑しており、駅前広場としての機能が不足している。
- ・交通手段として、自動車の利用が多くなっている。

##### ○地域住民のニーズ把握

- ・移動手段が「自動車」である人が70%以上を占めており、自動車交通への依存が高い。
- ・鉄道では「鉄道間の接続」、路線バスやコミュニティバスでは「運行本数」や「運行時間帯」が、満足度が低く重要度が高い指標となっている。
- ・路線バスやコミュニティバスの乗り継ぎ先の主な交通手段としては「近鉄」や「JR」といった鉄道が多く挙げられていることから、路線バスやコミュニティバスはフィーダー交通としての役割を果たしていることがわかる。
- ・コミュニティバスの認知は進んでいるが、全世代で共通して「利用しない」人が多く、利用する場合でも「月数回程度」や「年数回程度」といった限定的な利用が多い。
- ・今後の市内の公共交通の利用について、「将来は利用したいと思う」と回答した市民が約40%を占めていることから、市民の公共交通に対する将来への期待やニーズは高い。
- ・タクシーを日常的に利用している市民はほとんどいない。

##### ○関係事業者ヒアリング（未実施）

- ・関係する事業者（鉄道・バス・タクシー事業者）に対してヒアリングを行い、持続

可能な公共交通を実現するための今後の方向性の検討資料とする。

○基本方針・目標の検討（目標の検討：未実施）

- ・地域概況及び公共交通の現況調査、地域住民のニーズ把握のためのアンケート調査の結果から、本市における公共交通の課題を整理し、基本方針の設定を行った。
- ・本市における公共交通の問題点・課題を解決するための目標を検討する。また、目標の達成状況について評価する評価指標を設定し、PDCAの具体的内容を検討する。

○計画（案）のとりまとめ（未実施）

- ・検討結果及び会議での検討結果を御所市地域公共交通計画（案）としてとりまとめを行う。

【会議の開催状況、議論の概要】

○2022年10月17日開催

- ・地域公共交通計画の策定方針について
- ・利用実態調査、市民アンケートの実施について

○2022年12月19日開催

- ・利用者並びに市民アンケートの結果について
- ・公共交通における課題や基本方針、事業実施方針について

○2023年3月頃予定

- ・具体的な事業、スケジュールについて
- ・計画原案の検討、パブリックコメントの実施について

(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等

**補助対象事業**

地域公共交通確保維持改善事業				
事業	実施主体	着手・実施期間	種別	事業概要
地域概況及び公共交通の現況調査	協議会	R4.8月～ R4.12月	策	本市における人口、施設分布状況、公共交通、交通行動等の現況をとりまとめた。
地域住民のニーズ把握	協議会	R4.10月～ R4.11月	策	交通利用者および市民へのアンケート調査を実施した。
関係事業者ヒアリング	協議会	R4.2月予定	策	問題点や課題を解決するための施策方針を検討する。
基本方針・目標の検討	協議会	R4.11月～ R5.3月予定	策	公共交通の将来像を実現するための基本方針を策定した。また、目標の達成状況を評価する指標を設定し、PDCAの具体的内容を検討する。

計画（案）のとり まとめ	協議会	R5.3月予定	策	上記検討結果および会議での検討 結果を御所市地域公共交通計画 （案）としてとりまとめる。
-----------------	-----	---------	---	--

【種別】 幹：地域間幹線系統、フ：地域内フィーダー系統、策：計画策定事業、推：計画推進事業  
利策：利便増進計画策定事業、利推：利便増進計画推進事業

その他補助事業			
事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要

**非補助事業**

事業	実施主体	着手・実施期間	事業概要

(3) 生産性向上の視点から取り組んだ事業

※「(2) 目標を達成するために行う事業・実施主体・事業概要等」のうち、生産性向上を目指して取り組んだ事業について、その内容を記入して下さい。

※上記以外の事業においても、該当する事業・取組等があれば、その内容を記入して下さい。

事業	取組内容	効果目標

4. 具体的取組に対する評価

将来にわたり市民の移動手段となる公共交通を確保していくため地域公共交通計画を策定しようとするものであるが、現段階における本市の状況を把握し、市内の交通利用者および市民が公共交通を利用する理由・利用しない理由等を知り、それらの結果から課題を整理することがまず必要不可欠である。

本市の現況については、人口や土地利用、施設分布状況、公共交通などの項目で整理し、「御所市地域公共交通計画 現況整理編」としてとりまとめを行った。本市の自動車保有台数は奈良県平均を上回っているが、人口減少や高齢化率が進行し高齢者単独世帯も増加してきていることから、今後公共交通が果たす役割はますます重要になってくることが改めて認識された。

交通利用者および市民へはアンケート調査を行い、公共交通の利用頻度・目的などの利用状況および交通に対する満足度・重要度などの把握を行った。公共交通を利用しない理由として「自分で自動車などを運転して移動できるから」という理由が多く、現況整理同様、ここでも自動車交通に頼る現状であることが分かった。ただし、「将来は公共交通を利用したい」との回答も約40%を占めていたことから、公共交通に対する将来への期待やニーズは高いといえる。また、交通に対する満足度・重要度についてポートフォリオ分析を用いて検証したところ、公共交通機関同士の接続が重点改

善項目として多く挙げられた。

このような調査・検討結果から公共交通の課題を整理し、本市の現状や社会環境・上位関連計画における将来像等も踏まえ、基本方針を設定することができたため、これらの調査内容は妥当かつ十分であったと評価できる。

なお、このようにして設定された基本方針に基づき、課題を解決するための事業実施方針を立て、具体的な事業も検討していくため、ここまで行った調査・検討結果が御所市地域公共交通計画の中に綿密に反映できると考えている。

地域公共交通会議の場においては、交通利用者・市民アンケートについて、運転免許証自主返納に関するデータなど大変有用で貴重な情報をいただいたとの意見や、公共交通機関同士の接続の強化を図るにあたってのより詳細な情報（時間帯等）を把握できれば検討を進めやすいとの意見など、活発な議論を行うことができた。

#### 【交通利用者アンケートの概要】

##### ○調査時期

2022年10月14日 7～20時

##### ○調査対象

鉄道（近鉄・JR）、路線バス、コミュニティバスの利用者

##### ○調査項目

利用状況（目的・頻度・乗降駅・乗降バス停）

他の交通機関との乗り継ぎ状況

満足度・重要度 等

##### ○配布、回収方法

鉄道は市内各駅にて配布、バスは車内に乗り込み配布。

回収は郵送又はWEB。

##### ○配布枚数、回収枚数

1479枚、364枚

##### ○主な調査結果内容

- ・運転免許証を自主返納した人は全体の5%にとどまっている。
- ・鉄道（近鉄・JR）は、若者や中年世代では通学通勤のためほぼ毎日、高齢世代では買い物のため週1～2回程度のように、世代によって利用頻度と利用目的が大きく異なる。
- ・路線バス、コミュニティバスはフィーダー交通としての役割を果たしている。
- ・満足度、重要度についての評価から、公共交通機関同士の乗り継ぎ利便性の強化は急務である。

#### 【市民アンケートの概要】

##### ○調査時期

2022年10月18日から11月2日まで

○調査対象

高校生以上の御所市在住者

【調査項目】

普段の生活での外出について

鉄道について

路線バスについて

タクシーについて

コミュニティバスについて

今後の公共交通について 等

○配布、回収方法

郵送による配布。

回収は郵送又は WEB。

○配布枚数、回収枚数

2000 人、619 人（回収率 31.0%）

○主な調査結果内容

- ・運転免許証を持っていない方のうち、自主返納した人は約 20%しかおらず、自主返納するつもりはない人も一定数いる。
- ・移動手段は「自動車」が 70%以上を占めており、自動車交通への依存が高い。
- ・鉄道（近鉄・JR）の利用者を増加させるためには、運行内容ではなく、移動手段の転換（自動車から公共交通）や駅までのアクセス強化を図る必要がある。
- ・路線バスの利用者を増加させるためには、移動手段の転換等を図ると同時に、適切な分数を検討する必要がある。
- ・コミュニティバスの認知は進んでいるが、利用を促進しきれておらず、「月数回程度」や「年数回程度」といった限定的な利用が多い。

5. 自己評価から得られた課題と対応方針

課 題	課題への対応方針
計画（案）とりまとめまでのスケジュール	令和5年3月に計画（案）としてとりまとめをするにあたり、関係者ヒアリングによる施策方針の決定および目標の設定・PDCAの検討を行う必要があるが、スケジュールがかなりタイトである。各事業の詳細な日程を検討し、漏れ落ちなく進めていけるよう、計画策定支援業務委託事業者とも綿密に相談をしていく。

## 御所市地域公共交通会議（これまでの経緯）

### 1. 昨年まで（直近）の二次評価の活用・対応状況

昨年まで（直近）の二次評価における事業評価結果	事業評価結果の反映状況（具体的対応内容）	今後の対応方針

### 2. アピールポイント、特に工夫した点など

交通利用者および市民アンケートの調査結果のうち、各公共交通の「満足度」と「重要度」の調査結果についてポートフォリオ分析を実施した。これにより、「十分効果が得られている項目」や「早期に着手すべき改善効果が高い項目」などを視覚的に把握しやすい資料を作成し、計画策定に向けた課題の整理がされやすいように工夫できた。